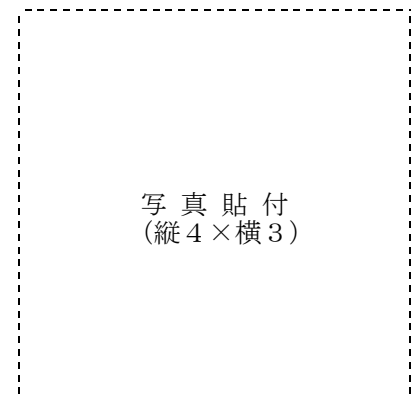


履 歴 書

フリガナ 氏 名	カンガク タロウ 関学 太郎	性別	男
生年月日 (年齢)	1944年4月30日生 (満55歳) 年齢については、作成時の満年齢を記入する。		
国 籍	.国名を記入する。 日本		
現 住 所	〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155		
電 話 番 号	0798-54-6100		



学 歴	
年 月	事 項
1967年 3月	関西学院大学文学部英文学科卒業 (文学士)
1969年 3月	関西学院大学大学院文学研究科修士課程修了 (文学修士)
1972年 3月	関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学
1973年 8月	〇〇〇〇〇〇〇〇大学大学院言語学専攻修了 (Doctor of Philosophy (Ph. D) 取得)
1977年 6月	文学博士の学位取得 (関西学院大学)
 (略)
	1. 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴のすべてについて記入し、その他の者は最終学歴について記入して下さい。なお、取得した学位・称号についても記入してください。 2. 博士号を取得せずに博士課程を修了した場合は「単位取得満期退学」と記入する。 3. 外国における資格については正確に記入する。また、その資格の内容についても併記する。 4. 外国留学は、学生としての場合は「学歴」欄に、研究者としての場合は「職歴」欄に記入する。

職 歴	
年 月	事 項
1974年 4月	〇〇〇〇大学専任講師 (1978年3月まで)
1978年 4月	〇〇〇〇大学助教授 (1979年3月まで)
1980年 4月	関西学院大学〇〇学部助教授 (1987年3月まで)
1982年 4月	関西学院大学学生副部長 (1984年3月まで)
1987年 4月	関西学院大学〇〇学部教授 (現在に至る)
1988年 4月	関西学院大学教務副部長 (1990年3月まで)
1990年 4月	関西学院大学教務部長 (1994年3月まで)
1994年 4月	関西学院大学学長代理 (1997年3月まで)
1997年 4月	学校法人関西学院理事 (現在に至る)
 (略)
1990年 11月 1993年 1月	<教員組織審査> 関西学院大学大学院△△学研究科□□□□専攻修士課程 教授 (専任) (〇〇〇特論、演習MⓄ) 関西学院大学大学院△△学研究科□□□□専攻博士課程 教授 (専任) (前期課程：〇〇〇特論、演習MⓄ、後期課程：〇〇〇演習DⓄ)
 (略)
	1. 職歴のすべて (非常勤、学内役職を含む) について記入し、職名、地位等についても明記する。また、過去に文部省大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、同欄に当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、専任・兼任・兼任、職名および担当授業科目名 (大学院にあっては、判定結果を含む) を記入する。 2. 同一大学内での昇任 (例：専任講師→助教授) についても記入する。

* B4でプリントアウトしたものをA4に縮小コピーして事務室に提出する。*

学会及び社会における活動等	
年 月	事 項
1978年 4月	<所属学会および役職> 日本〇〇〇〇学会会員（現在に至る）
1978年 4月	日本◇◇◇学会会員（現在に至る）
1978年 4月	日本英語学会会員（現在に至る）
1978年 4月	日本アメリカ学会会員（現在に至る）
1978年 4月	「〇〇〇〇研究」編集委員（1986年9月まで）
1978年 4月	日本〇〇〇〇学会幹事（1987年3月まで）
1978年 4月	英語音声学会会員（現在に至る）
1978年 4月	日本〇〇〇〇学会理事（1991年4月から日本〇〇〇〇学会常任理事）（現在に至る）
1978年 4月	日本〇〇〇〇学会副会長兼関西支部長（現在に至る）
（略）.....
1978年 4月	<学術関係団体役員> 学術審議会専門委員（〇〇〇〇分科会）（1997年12月まで）
（略）.....
	.所属学会名等は正確に記入する。
賞 罰	
1993年 3月 1996年 11月	第〇回財団法人△△育英会奨励賞受賞（課題研究「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」） 日経図書文化賞受賞
	.主要なものを記入する。なしの場合は「なし」と記入する。
年 月 日	上記のとおり相違ありません。← 自筆で記入して下さい。 氏 名 関 学 太 郎 ← 印

* B4でプリントアウトしたものをA4に縮小コピーして事務室に提出する。*

教育研究業績書				
				年 月 日
				自筆で記入する。 ↓ 氏名 印
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
<p>I. 著書</p> <p>著書、学術論文およびその他の順に適切に区分し、それぞれ年月日順(過去→現在)に、番号を付して記入する。 なお、著書は単行本として出版されているものであり、辞書は含まない。(辞書はⅢ.その他) また、論文集は著書(共著)として扱う。</p> <p>著書タイトル、論文タイトルが英文等の場合でも、イタリック体にはしない。</p>	<p>単 または 共</p>	<p>例) 1982年2月</p> <p>.1 数字は1桁は全角、<u>2桁以上はすべて半角</u>とする。</p> <p>.2 発行・発表済みのものは年月までの記載とする。(日は入れない)</p>	<p>例) 〇〇〇書房</p> <p>. 数字は1桁は全角、<u>2桁以上はすべて半角</u>とする。</p>	<p>著書、学術論文等の概要(200字以内)および頁数(①著書…単著は総ページ数、共著は掲載ページ、②学術論文…単・共著とも掲載ページ、ただし、<u>学位論文は総ページ数</u>)について、著書、学術論文等ごとに明確かつ簡潔に記入する。</p> <p>数字は1桁は全角、<u>2桁以上はすべて半角</u>とする。</p> <p>著書についての注意 <単著の場合> 最初に総ページ数を記入。学位論文も同様。 (例：(pp. 〇)。) <共著の場合> ・本人の氏名を含め著作者全員(多数の場合は4～5名の氏名、その他〇名と記載)の氏名を当該著書に記載された順に記入する。 (例：編者〇〇、分担執筆△△、□□、) ・当該部分は単著であっても共著とする。共著の場合は、本人の担当部分の概要および掲載頁を明記する。 (例：第1章「〇〇・・・」(pp. 〇-〇)を分担執筆。△△について論じた。) ・本人の担当部分を抽出するのが困難な場合はその理由を明記する。 (例：共同研究につき本人担当部分抽出不能)</p> <p>学術論文についての注意 ・学位論文については、その旨明確になるように記入する。 ・<u>発表雑誌・学会誌等は、その名称の他、巻・号等まで間違いのないよう正確に記入</u>する。表記は奥付等を参照すること。 ・学会誌等において発表予定のものについては、その旨を明記し証明書を添付する。投稿予定のものについては含めない。</p> <p>「Ⅲ. その他」についての注意 概要は100字程度で、明確かつ簡潔に記入する。</p> <p>※上記I、II、IIIに該当しない教育上の業績、職務上の実績等がある場合は、別紙追加説明を参照の上、所定の様式で書類を作成し、添付して下さい。</p>
<p>II. 学術論文</p>	<p>単 または 共</p>	<p>例) 言語と文化 第2号 (関西学院大学言語教育研究センター)</p> <p>English Linguistics, Vol. 34 (日本英語学会)</p> <p>.1 学術論文では、発表雑誌名には「」などは一切つけない。 発行所は最初に記載する時のみ()付けて記載する。以降は雑誌名のみ記載し、発行所は省略する。</p> <p>.2 雑誌名が英文等の場合でもイタリック体にはしない。</p>	<p>例) 言語と文化 第2号 (関西学院大学言語教育研究センター)</p> <p>English Linguistics, Vol. 34 (日本英語学会)</p> <p>.1 学術論文では、発表雑誌名には「」などは一切つけない。 発行所は最初に記載する時のみ()付けて記載する。以降は雑誌名のみ記載し、発行所は省略する。</p> <p>.2 雑誌名が英文等の場合でもイタリック体にはしない。</p>	<p>学術論文についての注意 ・学位論文については、その旨明確になるように記入する。 ・<u>発表雑誌・学会誌等は、その名称の他、巻・号等まで間違いのないよう正確に記入</u>する。表記は奥付等を参照すること。 ・学会誌等において発表予定のものについては、その旨を明記し証明書を添付する。投稿予定のものについては含めない。</p> <p>「Ⅲ. その他」についての注意 概要は100字程度で、明確かつ簡潔に記入する。</p> <p>※上記I、II、IIIに該当しない教育上の業績、職務上の実績等がある場合は、別紙追加説明を参照の上、所定の様式で書類を作成し、添付して下さい。</p>
<p>III. その他</p> <p>著書、学術論文以外の業績を項目別、年月日順に記載する。 (例) <書評> <翻訳> <辞書> <科学研究費報告> <学会発表> など </p>	<p>単 または 共</p>	<p>例) 言語と文化 第2号 (関西学院大学言語教育研究センター)</p> <p>English Linguistics, Vol. 34 (日本英語学会)</p> <p>.1 学術論文では、発表雑誌名には「」などは一切つけない。 発行所は最初に記載する時のみ()付けて記載する。以降は雑誌名のみ記載し、発行所は省略する。</p> <p>.2 雑誌名が英文等の場合でもイタリック体にはしない。</p>	<p>例) 言語と文化 第2号 (関西学院大学言語教育研究センター)</p> <p>English Linguistics, Vol. 34 (日本英語学会)</p> <p>.1 学術論文では、発表雑誌名には「」などは一切つけない。 発行所は最初に記載する時のみ()付けて記載する。以降は雑誌名のみ記載し、発行所は省略する。</p> <p>.2 雑誌名が英文等の場合でもイタリック体にはしない。</p>	<p>学術論文についての注意 ・学位論文については、その旨明確になるように記入する。 ・<u>発表雑誌・学会誌等は、その名称の他、巻・号等まで間違いのないよう正確に記入</u>する。表記は奥付等を参照すること。 ・学会誌等において発表予定のものについては、その旨を明記し証明書を添付する。投稿予定のものについては含めない。</p> <p>「Ⅲ. その他」についての注意 概要は100字程度で、明確かつ簡潔に記入する。</p> <p>※上記I、II、IIIに該当しない教育上の業績、職務上の実績等がある場合は、別紙追加説明を参照の上、所定の様式で書類を作成し、添付して下さい。</p>